

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年05月25日

計画の名称	安全・安心で快適な公園づくり（防災・安全）											
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	大阪市											
計画の目標	災害時における延焼防止や避難場所など、防災・減災に寄与するような都市公園の整備を着実に進める。 また、都市公園における総合的な安全・安心対策事業（バリアフリー化）を計画的に実施するだけでなく、公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化が進んだ公園施設の計画的な改築・更新を進める。 子どもや高齢者をはじめ誰もが安全・安心で快適に利用できるような公園施設整備を進める。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,156	A	1,156	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	整備計画期間における防災・減災に寄与する都市公園の整備進捗率（期間内約1.2haの整備を目指す） 整備計画期間における防災・減災に寄与する都市公園の整備進捗率 （目標年次の整備面積/H31末の整備目標面積）×100%	0%	46%	100%
2	整備計画期間におけるトイレのバリアフリー化進捗率（6箇所の整備を目指す） 整備計画期間におけるトイレのバリアフリー化進捗率 （目標年次におけるトイレのバリアフリー化済みの公園数/H30末トイレのバリアフリー化済みの目標公園数）×100%	0%	60%	100%
3	整備計画期間における公園施設（遊具等）98箇所以上の改築完了を目指す 整備計画期間における公園施設（遊具）の改築進捗率 （目標年次における改築済みの公園施設（遊具）数/H31改築済みの目標公園施設数）×100%	0%	78%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	大阪市	直接	大阪市	-	-	都市公園事業(毛馬桜之宮公園)	整備工事等(0.5ha)	大阪市						45	-	
	A12-002	公園	一般	大阪市	直接	大阪市	-	-	都市公園事業(巽公園)	整備工事等(0.48ha)	大阪市						146	-	
		平成30年度より防災・安全交付金から社会資本整備総合交付金へ移行																	
	A12-003	公園	一般	大阪市	直接	大阪市	-	-	都市公園事業(津守中央公園)	整備工事等(0.16ha)	大阪市						32	-	
	A12-004	公園	一般	大阪市	直接	大阪市	-	-	都市公園事業(大和川公園)	整備工事等(2.4ha)	大阪市						324	-	
	A12-005	公園	一般	大阪市	直接	大阪市	-	-	都市公園安全・安心対策緊急総合支援整備事業	桜之宮公園等6箇所以上の公園にいける便所のバリアフリー化	大阪市						138	-	
	A12-006	公園	一般	大阪市	直接	大阪市	-	-	公園施設長寿命化対策支援事業	98箇所以上の遊具等の公園施設の改築	大阪市						471	策定済	
小計																1,156			



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 大阪市内にて評価を実施	事後評価の実施時期 令和3年3月
	公表の方法 大阪市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園整備の結果、本計画の成果指標である「整備計画期間における防災・減災に寄与する都市公園の整備進捗率」を部分的に達成した。</li> <li>公園施設における安全・安心対策を実施した結果、本計画の成果指標である「整備計画期間におけるトイレのバリアフリー化進捗率」を部分的に達成した。</li> <li>公園施設整備の結果、改築・更新した公園施設(遊具)数が増加した。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	
特記事項(今後の方針等)	
<p>成果指標である「防災・減災に寄与する都市公園の整備進捗率」、「トイレのバリアフリー化進捗率」および「公園施設(遊具)の改築進捗率」については、令和2年度からの新計画「安全・安心で快適な公園づくり(防災・安全)」および「安全・安心で快適な公園づくり(防災・安全) (重点)」において、目標達成する。</p>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	(目標年次の整備面積/H31末の整備目標面積) × 100%		
	最終目標値	100%	平成30年度より一部の公園整備を社会資本総合整備計画（安全・安心で快適な公園づくり）へ移行したため。
最終実績値	45%		
2	(目標年次におけるトイレのバリアフリー化済みの公園数/H30末トイレのバリアフリー化済みの目標公園数) × 100%		
	最終目標値	100%	老朽化した遊具の更新など長寿命化対策に係る事業を優先したため。
最終実績値	20%		
3	(目標年次における改築済みの公園施設(遊具)数/H31末改築済みの目標公園施設数) × 100%		
	最終目標値	100%	当初予定していた遊具の改築を新たな社会資本総合整備計画（安全・安心で快適な公園づくり(防災・安全)（重点））において実施したため。
最終実績値	65%		